

議員定数に関するアンケートへのご協力のお願い

小布施町議会では、令和9年4月における改選の将来を見据えた議員定数のあり方について「議員定数・報酬等検討特別委員会」を設置し、検討を行っております。

つきましては町民の皆様にもアンケート調査を実施させていただき、ご意見を伺います。

アンケートの回答に当たっては無記名としております。
別添はがきへの回答に、ご協力をお願い申し上げます。

令和8年2月吉日

小布施町議会

1. アンケートの目的

次期一般選挙（令和9年4月）における議員定数（現在14人）に係る町民の意向の把握のため

2. アンケートの対象者

小布施町にお住まいの18歳以上の方を対象 全世帯に配布

3. アンケートの提出方法

このアンケートは令和8年3月5日（木）までに、はがきにより回答をお願いします。

※添付してある「はがき」にて回答し、投函してください。

4. 注意事項

アンケートの回答は、一世帯で1回限りです。

（※世帯の代表または、世帯の意見を取りまとめてご回答をお願いいたします。）

1. 議会について

町民を代表する14人の議員で構成され、町民全体の代表として小布施町の意思を最終的に決定するほか、行政機関としての小布施町が、真に町民の意思を反映した行政を行っているかどうかを監視するなどの役割を果たしています。

2. 議員数の状況と町議会選挙

(1)議員定数について

- 条例定数 14人
 - 現議員数 13人（任期：令和5年4月30日～令和9年4月29日）
- ※欠員1名 令和6年12月に辞職

(2)なり手不足（立候補者数）の状況 (投票率)

平成19年 4月	立候補者数17人	(選挙)	77.12%
平成23年 4月	立候補者数14人	(無投票)	—
平成27年 4月	立候補者数14人	(無投票)	—
平成31年 4月	立候補者数14人	(無投票)	—
令和5年 4月	立候補者数15人	(選挙)	53.36%

1. 小布施町議会の取り巻く環境

小布施町議会では、将来を見据えた「適正な議員定数」について検討を進めています

検討資料① 小布施町の将来人口推計について

自然増減（出生数－死亡数）については、1990年以降、出生数が減り続いている一方、死亡数は増加傾向にあり、1990年前後から死亡数が出生数を上回る、いわゆる「自然減」の時代で、2024年の出生数71人に対し死亡数は147人で、自然増減は－76人です。

社会増減（転入数－転出数）は、1990年から2000年までは転入数が上回り、その後、増減を繰り返しましたが、2010年以降は転入数が転出数を上回る傾向で、2024年の調査では65人の転入超過となっており、現状の傾向を踏まえ第七次総合計画の人口ビジョンでは、10年後の目標人口を10,043人、高齢化率34.9%に設定しています。

検討資料② 近隣町村と人口同規模町村の比較

市町村名	議員定数	人口	議員1人当たりの人口	議会議員の報酬額（月額）	議会費予算割合
小布施町	14	10,989	785	181,000	1.2%
高山村	12	6,116	510	180,000	1.3%
山ノ内町	14	11,172	798	192,000	0.8%
飯綱町	14	10,276	734	174,000	0.9%
佐久穂町	14	10,272	734	218,000	1.0%
松川町	14	12,063	862	228,000	1.1%
高森町	14	12,665	905	201,500	1.1%

2. 議員定数の考え方

議員定数による検討内容（参考）※本資料は、議員数を検討する項目を一部示したものです。

① 町の規模との状況は

人数が多い少ないではなく、町の人口規模・財政規模・行政課題に合った議員数か。

② 議会の役割はどうか

議論が整理され、住民に分かりやすく、行政へのチェック機能が機能しているか。

③ 多様な意見をどう受け入れているか

幅広い町民の声を、議会はどう受け入れできるか。

④ 議員の責任と対応は

責任の明確化と質の高い対応ができるかどうか。

⑤ 将来のなり手への影響は

若い世代への継続、現役世代の関わりができる議会になっているか。

【問い合わせ先】小布施町大字小布施1491-2 小布施町議会事務局

TEL:026-214-9112（直通） FAX:026-247-3113

E-mail:gikai@town.obuse.nagano.jp

ホームページ <https://www.town.obuse.nagano.jp/diet/>